

# 問 幼稚園等の 担任臨時職員に手当てを

答 担任の臨時職員の賃金を改善する

無会派 大名 美恵子 議員



**議員** 子育てや教育の分野は、本来正規職員の配置が望ましく、本村では来年度の幼稚園教諭と保育士の正規職員を採用した。しかし、全担任を埋めるだけの正規職員数にはならず、現場では産休や病休等代替え職も含め、臨時職員が担任を受け持っている。村は正規職員を採用しつつ、当面担任を持つ臨時職員に手当て等を検討してはどうか。

**総務部長** 臨時職員の担任配置の常態化や、正職員と臨時職員の職員数構成の逆転など課題の大きさは認識しており、計画的な採用に努めていく。また、従前より村としても臨時職員の同一労働同一賃金の観点から、喫

緊に解決すべき事と

え、今般、担任の臨時職員に係る賃金を改

善し、来年度からの募集を行うこととしている。

**議員** 産休代替え等担任も含めた改善か。募集はいつ頃行うのか。

**総務部長** 産休代替えも含めた改善で、募集は、12月25日号の「広報とうかい」や村公式ホームページに掲載の他、ハローワーク等へ広く案内していく。



とうかい村松宿こども園運動会

## 第10回全国原子力発電所立地議会サミットに参加



全体会のようす



分科会のようす

舛井文夫議長ほか原子力問題調査特別委員会委員9名の議員は、11月10日～11日、東京都にある品川プリンスホテルにおいて開催された、全国原子力発電所立地議会議長会主催の「第10回全国原子力発電所立地議会サミット」に参加。サミットは、立地市町村議会議員や電力関係者など400人を超える参加者のもと2年に1度行われている。

今回のメインテーマは、「日本におけるこれからの原子力政策のあり方～原子力発電を将来世代にどう引き継ぐか～」。5つの分科会に議員が別れて参加した。

意見の異なる議員同士が、住民の安全・安心の確保、生活安定の向上、地域振興などに関し、地域住民の代表として、それぞれの見地から積極的な議論を展開した。